

令和4年度(第18回) 春の全国中学生ハンドボール選手権大会

女子 準決勝

令和5年3月29日(水)

於:氷見市ふれあいスポーツセンター

A	大住(京都)	対	B	鶴城(熊本)
---	--------	---	---	--------

21	9	前半	17	34
	12	後半	17	

2年ぶり11回目の出場(3位1回)となる京田辺市立大住中学校と、3年連続9回目の出場(準優勝1回3位1回)となる宇土市立鶴城中学校の対戦となった準決勝は、鶴城中学校のスローオフで始まった。

先制は大住8番永田。上からのロングシュートを決める。鶴城も7番高山のサイドシュートで得点をあげる。鶴城の6番三浦のロングシュートが続くが、大住8番のカットインを決める。その後、鶴城のGK1番高田のナイスセーブからの速攻が決まる。中盤より、鶴城の積極的なディフェンスからの速攻が決まり徐々にペースをつかむ。大住も相手の速攻に対し5番久保田のインターセプトから得点するが、鶴城の7番高山のサイドシュートで加点するなど鶴城が前半8点差をつけて折り返す。

後半は、大住は7番高梨の7mやサイドシュートを確実に決めたり、6番金山のロングシュートなどで応戦する。鶴城のフットワークを生かしたディフェンスに攻めあぐみ、ダブルポストで攻撃したり、14分42秒にタイムアウトを取ったりするも、徐々に得点差が開いていく。後半終了間際、7番高梨のサイドからのループシュートが決まるもタイムアップ。

終始リードを続けた鶴城が34-21で決勝戦へ駒を進める。

記入者氏名 中山 光広